

令和8年度 （ 探究生物 ） シラバス

教 科	理科	科 目	探 究 生 物		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	文 系
教 科 書	生物基礎・生物実験ノート (愛媛県高等学校教育研究会理科部会)		副教材	大学入学共通テスト対策チェック&演習生物基礎 (数研出版)、 進研 WINSTEP (進研学参)	
学 習 目 標	日常生活や社会との関連を図りながら、目的意識をもって観察、実験を行い、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。【知識及び技能】 目的意識をもって観察・実験を行うとともに、生物学的に探究する能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。【思考力、判断力、表現力等】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高め、主体的に探究しようとする態度を育成する【学びに向かう力、人間性等】				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1部 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー 第2部 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子 2章 遺伝情報の分配 3章 遺伝情報とタンパク質の合成	- すべての生物に見られる共通な特徴を理解する。 - 生物の体の基本単位である細胞の構造について理解する。 - DNA にはどのような特徴があるのか理解する。 - 遺伝情報からどのようにしてタンパク質がつくられるのか理解する。
2 学期	第3部 生物の体内環境の維持 1章 体内環境 2章 体内環境の調節 3章 免疫 第4部 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と分布 2章 気候とバイオーム 3章 生態系とその保全考察と応用	- ヒトの体内環境の変化に応じて、どのようなしくみが働いて一定の状態に保たれるのか理解する。 - ヒトの体は、病原体の侵入をどのようなしくみで防いでいるのか理解する。 - 植生と環境が、時間の経過とともにどのように移り変わっていくのか理解する。 - 人間活動が生態系に与える影響を理解し、どのようにすれば生態系を保全することができるのか理解する。
3 学期	総合探究	- 学習内容の定着と応用力を養う。 - 問題演習を行うことで理解力、応用力を高める。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・学習した生物の基本的な概念や原理が正しく理解できている。	・定期考査
思考・判断・表現	・課題を遂行するにあたって科学的・論理的に思考し、判断している。	・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に対して主体的に関わり、理解しようとしている。 ・観察や実験に主体的に取り組んでいる。	・小テスト ・ノートや課題 ・自己評価